

今の時代を生きるために欠かせない、
ニュースを読み解き、活用するチカラをつける検定です。

ニュース時事能力検定（ニュース検定、N検）は、ニュース報道を読み解き、活用する力（時事力）を養い、認定する唯一の検定です。時事力とは、現代社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、その課題をみんなで解決していく礎となる総合的な力（知識、思考力・判断力など）です。大きく変動し、先行き不透明な時代に、人生を切り開くために不可欠な力です。

ニュース検定の特長

- 1 今を読み解く重要テーマをベテラン記者、有識者のチームが厳選し、良質な問題に練り上げています。
- 2 5分野（経済、暮らし、社会・環境、政治、国際）からバランスよく出題し、総合的な力を測ります。
- 3 問題の難しさが異なる六つの級から選んで受検できるため、それぞれの目標を容易に設定できます。合格の達成感がさなる学習の動機づけとなり、時事力をスムーズに高めていくことができます。
- 4 各級に対応した公式教材（この本や、ほかの級に対応したテキスト、問題集）を取りそろえています。自学自習に配慮した公式教材を活用すれば、初めての方でも合格に必要な力を無理なく養えます。
- 5 受検後の「結果通知」で問題別の正誤と分野、分野別正答数が分かるため、得手不得手を容易に把握できます。公式サイト上で公表する丁寧な解説も、弱点を克服するための復習をサポートします。
- 6 N検の資格取得者は全国約400校（大学・短大、高校）のAO・推薦入試などで評価・優遇されています（2018年1月現在）。時事力を養うことは、就職活動における筆記試験・面接対策にもなります。
- 7 N検は学校の学びと深い関係にあります。公民、地理歴史などの学習を現実社会と関連づけて深める目的で、N検や公式教材は多くの学校で利用されています。大学の入学前・初年次教育などでも活用されています。

各級の目安と検定内容

級	レベル	受検対象の目安	程 度
1 級	★★★★★	高校生、大学生・一般	新聞の社説レベルの記事も読み解き、社会や自分の新たな課題を設定できる。
2 級	★★★★	高校生、大学生・一般	ニュースを批判的に読み解き、自分なりの意見を導ける。
準 2 級	★★★★	中学生、高校生、大学生・一般	さまざまなニュースを、現代社会の諸問題と関連づけて理解できる。
3 級	★★★	中学生、高校生、大学生・一般	基本的なニュースを、社会の仕組みの中に位置づけて理解できる。
4 級	★★	小学生、中学生、高校生	新聞やテレビのニュースに関心を持ち、自分の暮らしと結びつけて考えられる。
5 級	★	小学生、中学生	国内を中心に、社会のルールやできごとに関心を持つ。

●検定時間 各級50分 ●設問数 各級45問 ●出題形式 1 級：四肢択一（マークシート）、一部記述 / 2 ～ 5 級：四肢択一（マークシート）

Stage	小学生	中学生	高校生	大学生・一般
Class				1 級
				2 級
			準 2 級	
		3 級		
	4 級			
	5 級			

合格基準	
1 級	80点程度/100点満点
2 級～5 級	70点程度/100点満点
総合的な時事力を測るため、 五つの分野から出題します。	
経済	暮らし
政治	社会・環境
	国際

●検定本番の約6割はこの本から

2018年度に実施される5級の検定問題（45問）の約6割は、この「2018年度版ニュース検定公式ワークブック 入門編（5級対応）」の中の「わかるかな？ 基本のことは」「ポイント」「N検にチャレンジ！ 練習問題」から出題されます。

す。ただし、「N検にチャレンジ！ 練習問題」からの出題は、まったく同じ問題とは限りません。似ている問題もあります。

●ニュース検定の公式サイト

<http://www.newskentei.jp/>



もくじ



この本の仕組みと使い方 2

テーマ

経済分野

- ① 日本の国土と農林漁業 3
- ② さまざまな資源と工業 6
- ③ 日本の貿易や運輸・観光 9
- ④ 私たちの食生活と食文化 12

暮らし分野

- ⑤ 私たちの暮らしと消費 15
- ⑥ 社会で働くということ 18
- ⑦ 減る人口、進む少子高齢化 21

社会・環境分野

- ⑧ ピンチの「環境」守るには 24
- ⑨ 地域の特色や課題 27
- ⑩ 災害列島ニッポン 30
- ⑪ 共に生きる社会へ 33
- ⑫ 情報社会に生きる 36

政治分野

- ⑬ 憲法と私たちの暮らし 39
- ⑭ 国の政治の仕組み 42
- ⑮ 地方の政治の仕組み 45

国際分野

- ⑯ 日本とつながりの深い国々 48
- ⑰ 平和な世界を求めて 51

正解と解説 54

索引 62

2017年重大ニュース 64



■この本の内容は、人名・肩書や国名・組織名を含め、2018年2月末時点の情報に基づいています。
■この本で使っている写真、図表、イラストなどは原則として、毎日新聞社から提供を受けています。

ニュース検定の5級にチャレンジしたいけれど、どんな準備をすればいいかわからない——。そんなあなたを、この「公式ワークブック」が応援します。2018年度の検定で出る問題（45問）のうち約6割は、この本の中にある「わかるかな？ 基本のことば」「ポイント」「N検にチャレンジ！ 練習問題」から出題されます（「練習問題」からの出題は、まったく同じ問題とは限りません。似ている問題も含みます）。「基本のことば」と「練習問題」をこなせば、もう合格証は目の前に。5級に受かったら、さらに上の級を目指しましょう。

1

日本の国土と農林漁業

わかるかな？ | 基本のことば

練習問題

★日本の国土の約4分の3は(①)で、残る約4分の1の平地に人口や産業が集中しています。稲作が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。

★日本では、(②)を営む人が減っているため、農地(田んぼや畑など)が使われずにたくさん余っています。

★日本は森林に囲まれた国ですが、外国の木材が安く輸入され、(③)は減ってきました。しかし、国産材の需要を満足そうとうい動きがあります。

★日本列島の川は外国と比べて短く、流れが(④)です。細長い国土の中央に山脈が背骨のようにそびえているため、山から海までの距離が短いのです。

★日本の太平洋側には、寒流の親潮(千島海流)と暖流の(⑤)(日本海流)が流れています。親潮と(⑤)は東北地方の三陸海岸の沖合で出合います。こうした(⑥)にはさまざまな魚が集まり、良い漁場になっています。

★多くの狭い湾が入り組むリアス(式)海岸は波が穏やかで、(⑦)漁業などが盛んです。三陸海岸(岩手県など)や志摩半島(三重県)が代表例です。

★地元で生産された農産物や水産物を、その地域で消費しようとする取り組みは(⑧)と呼ばれます。

ポイント

★日本の国土の約4分の3は山地(丘陵を含む)で、残る平地(平野と盆地)に人口や産業が集中しています。稲作(米づくり)が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。

★日本では、農業を営む人が減っているため、農地が使われずにたくさん余っています。

★日本の国土の約4分の2は森林ですが、輸入木材に代わって、国産材が増えてきました。

★太平洋側の寒流(親潮=千島海流)と暖流(黒潮=日本海流)は、東北地方の三陸海岸の沖合で出合います。こうした潮目(潮境)は、良い漁場になっています。

★リアス(式)海岸は細長い湾とその間に突き出た半島からなり、養殖漁業などが盛んです。

2

N検にチャレンジ！ | 練習問題

1

日本の国土の約4分の3を【A】が占め、占める人は残る約4分の1の「平地」に暮らしています。地のうち、海に面した【B】には稲作が盛んな地域が多く、代表例は近江【B】(山形県)です。【A】1、【B】2(2カ所)にはさまざまな農産物の正しい組み合わせを、次から一つ選びなさい。

① A—山地 B—高地

② A—山地 B—平野

③ A—山地 B—盆地

④ A—山地 B—平野

2

日本の川は外国の川と比べて【A】、流れが【B】。日本一長い【B】(長良川、岐阜県)は、367kmですが、世界一長いナイル川(ナイル川)の長さしかありません。【A】1、【B】1に当てはまる農産物の正しい組み合わせを、次から一つ選びなさい。

① A—稲く B—長良川

② A—稲く B—信濃川

③ A—稲く B—長良川

④ A—稲く B—信濃川

3

日本の近海には寒流と暖流が流れています。太平洋側の暖流は【A】(千島海流)、暖流は親潮(日本海流)と呼ばれます。寒流と暖流が出合うところを【B】(潮目)といいますが、潮目(潮境)にすむ魚の数が多いため、良い漁場になっています。【A】1、【B】1に当てはまる農産物の正しい組み合わせを、次から一つ選びなさい。

① A—水産物 B—プレート

② A—水産物 B—半島

③ A—水産物 B—カルデラ

④ A—水産物 B—海峡(潮境)

3

日本の国土と農林漁業

基本のことば(例題は37)

① 山地 ② 農業

③ 森林 ④ 稲

⑤ 風潮 ⑥ 潮目(潮境)

⑦ 農地 ⑧ 地産地消

練習問題(例題は4、57)

問1 多くの平野は川の下流沿いに広がっています。農業などさまざまな産業を営んだり、人が住んだりするのに適しています。

問2 細長い国土の中央に山脈がそびえているため、山から海までの距離が短いのです。

問3 千島列島に沿って南下する親潮には寒流や栄養分が多く、プランクトンが豊富です。それを自国で漁などが集まります。親潮と暖流が出合う潮目(潮境)は、東北地方の三陸海岸の沖合にあります。

問4 日本は国内で使う木材の7割近くを輸入に頼っています。これに対し、国産の木材を使った新建材(鉄骨より軽くて同じくらい強い)を広げようという動きもあります。

問5 宮城県気仙沼市では、「森は海の恋人」を合言葉に、山に木を植えて森を守る運動が続いています。①～③も森の動きとしては正しいです。④のような動きから、森林は「緑のダム」とも呼ばれます。

問6 リアス(式)海岸の湾には波が穏やかで、養殖漁業などが盛んです。「リアス」はスペイン語の「リア」(入り江)や「海」という意味)から生まれた言葉です。

問7 農業を営む人の数はここ20年減り、半ば減りに減りました。その結果、耕作放棄地(今後数年は作物をつくる見通しのない農地)が約40万に上ります。

問8 地産地消が進めば、食べ物をトラックで遠く距離を短くし、車の排ガス(二酸化炭素など)を減らすことにもつながります。

54

ニュース検定公式ワークブック入門編 5級

練習問題

四つの選択肢から一つを選ぶ方式で、検定本番と同じです。力試しをして、本番に備えましょう。

総合問題

まとまった文章を読んでいくつかの問題に答える「総合問題」も用意しました。本番の検定問題も、一部は総合問題の形式で出されます。

■本番の検定問題(45問)はすべて、四つの選択肢から一つを選ぶ四肢択一式です(マークシートに記入して解答)。

■この本にある「基本のことば」のような記述式問題は出題されません。

■本番の検定問題もこの本と同様、原則としてすべての漢字にふりがなを振っています。

1

にっぽん こく ど のうりんぎぎょう

日本の国土と農林漁業

わかるかな？ | 基本のことば

解答例は54ページ

- ★日本の国土の約4分の3は(①)で、残る約4分の1の平地に人口や産業が集中しています。稲作が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。
- ★日本では、(②)を営む人が減っているため、農地(田んぼや畑など)が使われずにたくさん余っています。
- ★日本は森林に恵まれた国ですが、外国の木材が安く輸入され、(③)は衰えてきました。しかし、国産木材の良さを見直そうという動きがあります。
- ★日本列島の川は外国と比べて短く、流れが(④)です。細長い国土の中央に山脈が背骨のようにそびえているため、山から海までの距離が短いのです。
- ★日本の太平洋側には、寒流の親潮(千島海流)と暖流の(⑤)(日本海流)が流れています。親潮と(⑤)は東北地方の三陸海岸の沖合で出合います。こうした(⑥)にはさまざまな魚が集まり、良い漁場になっています。
- ★多くの狭い湾が入り組むリアス(式)海岸は波が穏やかで、(⑦)漁業などが盛んです。三陸海岸(岩手県など)や志摩半島(三重県)が代表例です。
- ★地元で生産された農産物や水産物を、その地域で消費しようとする取り組みは(⑧)と呼ばれます。

ポイント

- 日本の国土の約4分の3は山地(丘陵を含む)で、残る平地(平野と盆地)に人口や産業が集中しています。稲作(米づくり)が盛んな地域は、平野(海に面した平地)に多いです。
- 日本では、農業を営む人が減っているため、農地が使われずにたくさん余っています。
- 日本の国土の約3分の2は森林ですが、輸入木材におかれて、林業は衰えてきました。
- 太平洋側の寒流(親潮=千島海流)と暖流(黒潮=日本海流)は、東北地方の三陸海岸の沖合で出合います。こうした潮目(潮境)は、良い漁場となっています。
- リアス(式)海岸は細長い湾とその間に突き出た半島からなり、養殖漁業などが盛んです。

経済

2 ニュース検定公式ワークブック入門編 5級

3